

倫理委員会審議内容

令和1年7月18日開催

No.1	申請者 : 精神科 栗原 雄大
課 題	アルコール依存症の認知機能の回復に関する研究
研究の概要	<p>アルコール依存症の認知機能の回復に関する研究依存症の患者の認知機能に関して、断酒による回復や、飲酒継続による悪化を調べることを目的とする。国立病院機構琉球病院でアルコール依存症の入院治療期間中にBACS-J、IGTを行った患者を対象とする。退院後に外来通院を行っている患者に対して、退院後1年から1年半の期間で再度BACS-J、IGTを行い認知機能の回復や悪化の程度を調べる。この中には、断酒を行っている予後良好群や、再飲酒となった予後不良群の患者が含まれ、約100名の患者を対象とする。</p> <p>予後良好群、不良群に関して、認知機能の回復や悪化に関して解析を行い比較検討を行う。</p>
判 定	条件付承認
利益相反審査判定	承認